

ENOKI

えのき



**大神楽つてなあと！
日本の伝統文化を楽しむ会**

日本には古くから神社を祭る大神楽とよばれた式楽、舞楽がありました。その後、獅子舞で氏子の家々をおほらする風習が生まれました。江戸時代になり、娯楽を求める寄席が各地にできると、獅子舞の余興として演じていた曲芸が寄席芸能として発展しました。

2月2日(土)に開催された「日本の伝統文化を楽しむ会」では、ただ・じゅんさんに獅子舞や太鼓、笛、三味線の鳴り物を、また鏡味千代さんに大神楽曲芸を披露していただきました。

曲芸は見応えのある五階茶碗、顎だけを使って茶碗に器用に化粧房を乗せてバランスをとります。子どもたちの目は一番上にあるものにくぎづけになります。和傘の上で鞠や輪を廻す傘まわしには女の子が飛び入り参加、見事に和傘に紙風船を乗せて廻しました。

獅子舞は、観客の間をまわり、その大きな口で子どもたち一人ひとりの頭にかぶりつきました。かまれた皆は今年一年の厄を追い払ってもらいました。

その後は、ただ・じゅんさんの笛に合わせてお父さんたちがリズムカルに太鼓や摺鉦を打ち鳴らし、お囃子を披露してくれました。子どもたちもお囃子につられて、小さな太鼓を打っていきます。会場はお祭りのような派手やかさに包まれました。

日本の伝統芸能を直に見て体験する、楽しいひとときを過ごしました。

会場 榎町地域センター 参加77名
主催 早稲田地区青少年育成委員会

5 原町一丁目 天祖神社

原町一丁目は、柳町交差点より大久保通りの北側、外苑東通りの西側に位置し、町のほぼ中央42番地に、江戸時代「神明宮」といわれた「天祖神社」があります。

以来約400年、原町一丁目の鎮守として崇拝されてきました。

慶長の頃、長兵衛という大変信仰心の篤い里人がいました。ある時神靈が夢の中に現れ「我ここに住みて諸人の苦難を救わん。」といわれる事が五晩続きました。この話を聞いた大橋龍慶という長者が、天照大神を勧請して祠を建て、その後、諸難消除祈願・病氣平癒祈願・安産祈願・子育て中祈願などで、お参りする人が絶えることなく霊験あらたかな神社として知られ、原町一丁目の鎮守として今も多くの人々に信仰されています。

御祭神は「天照皇大神」、境内には、桃の神を祀った桃祖神社があります。境内は約147坪あり、餅つき、盆踊り、音楽会、防災訓練、出店等の楽しいイベントで町内の親睦の場となっております。又奥の社務所は、集会所として使用されています。昭和20年に戦災で焼けた社殿も再建され、戦災をまぬがれた神門、水舎なども平成のはじめに逐次修理され、現在にいたっております。

桃祖神社は、桃の神を祀る神社

中国では、桃は邪気を打ち払う靈力のある果物とされてきました。

さて、なにゆえに天祖神社の境内に、桃の神が祀られているのか、それは社伝によると天祖神社は、天照大神という女神を祀ることから、多くの女性らが参拝しました。その女性達の中には慶事であるが、生命の危険もあった出産の無事を祈願する人もいました。そして神社側も毎年盛大な安産祈願の祭りを斎行し、その際に「桃のお

守り」を参拝者に授けし、その御神徳を広めたということです。

このお守りを受けて無事に出産をしたある女性が、桃の神に感謝し二体の御神像を奉納し、この御神像をお祀りするために、お社を建立しました。これが現在の桃祖神社となりました。

以来安産祈願はもとより、子孫繁栄、あらゆる厄難消除などに御利益ある神様として信仰されています。

天祖神社の神門

弘化2年、氏子らにより建立された門

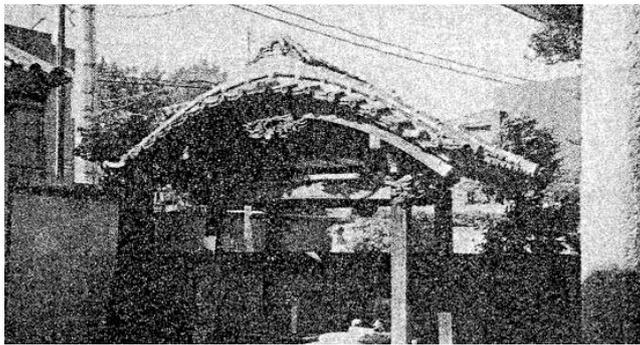
武家屋敷の門に多い、薬医門型式で、全体的に彫り物などの装飾が多く、技巧的な造りになっています。度重なる改修を続けるも当初の型をよく残しています。新宿区で二十一号、地域文化財として指定されています。

現在外苑東通りの道路拡張が行われている最中です。

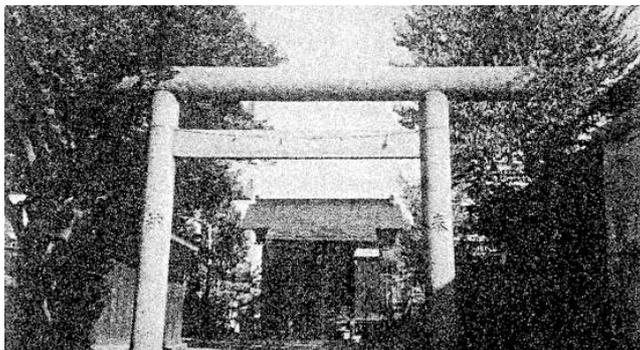
町の様子も少しずつ変化してきています。こういつ時こそ、今まで以上に町会の和が大切になります。明るく活気のある住みやすい街に発展する様、町会が一丸となって良い方向に改革していきましょう。



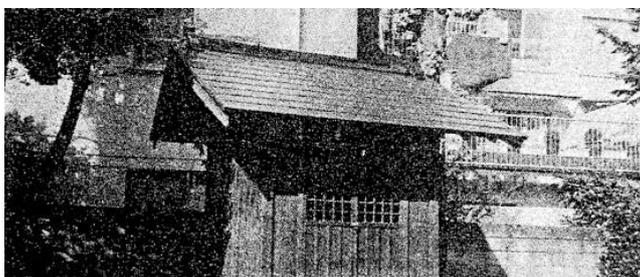
神門



水舎



天祖神社



桃祖神社

東京初空襲余談 4

榎町 大竹良重(満九一歳)

前述した様に、康文社印刷所では、

ていたと感じる。

玄関先の1発だけではなく工場内

東京初空襲について、以下に記す

にも複数発(2〜3)が着弾した。全

事は、私が無言を通した真の理由で

従業員が持ち場を分担して消し止

もある。空襲で受けた傷も治りガ

めた。私は治療中で実際の現場は見

ていた。突然、康文社印刷所の幹部

でないが、戦時下の快挙として新

の方が自宅に見え以下のことを、指

間等で称えられた。この消火活動の

物師の父に話していった。内容は、早

新聞記事が「陸軍省と情報局」の目

稲田警察署長から康文社社長宛に

に留まり、両者のお声掛かりで、と

書状が届いたが中味は、4月18日の

うとう、脚色されて「浪曲作品」にな

空襲で、犠牲になった方の遺族や負

ることになった。当時、浪曲(浪花節)

傷を負った者に「天皇・皇后両陛下」

は大衆芸能の最右翼であった。戦時

より「弔慰料」や「見舞い」が下賜さ

下のラジオからは、浪曲や講談がよ

れる。就いては、早稲田警察署長同

く流れていた。当時の浪曲作家の第

道で警視庁講堂に参集すべし。とい

一人者である「秩父重剛」先生(赤城

う趣旨であった。正規の従業員でも

の子守唄、荒神山、他数多くの作品

ない私が何故と、父から当然の質問

で有名)が康文社印刷所を訪れて、

をしたが、「お断り」することは出来

当事者複数名から聞き取りをし、従

ないから、お受けする様にと行って

業員の消火活動を浪曲作品に仕上

帰られた由。後で、父から聞かされ

げたという出来事があった。どの様

た時は、只、びつくりしたの一言であっ

な「国策浪曲」が出来たかは、残念な

た。戦時、明治憲法下の天皇は現人

がら台本を見ることも、口演を聴く

神で、私は、大日本帝国の一臣民で

ことも機会がなかった。昭和17年の

あった。

この頃までは未だ「古い日本」が残っ

た。

榎町地区町会連合会で 避難所運営を疑似体験

避難所運営を疑似体験

榎町特別出張所地区町会連合会(会長：中村廣子 中里町会会長)は、2月14日(木)、同町会連合会に所属する町会長を対象に、避難所運営ゲームを実施しました。避難所運営ゲームとは、避難者に見立てたカードを、避難所の平面図に適切に配置できるか、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを机上で疑似体験するカードゲームです。

当日は、16の町会長(代理含む)が3班に分かれて参加し、発災時に避難所となる小学校の平面図を用いてゲームを開始しました。各班では、読み上げ役から次々と読み上げられたカードに書いてある様々な事情(ペットを連れてきている方、怪我をしている方など)をかかえた方々を、避難所のどこに案内するのか、運ばれてきた救援物資や仮設トイレなどの場所を避難者にどう周知していくのかなどを検討しました。

ゲームとは言え各町会長の皆さんは、約1時間30分にわたり、それぞれ与えられた役割を真剣にこなしていきましました。参加された町会長からは、「様々な避難者に対応する困難さを感じた」、「発災時の疑似体験となる。何度もゲームを行うことで避難所開設のスキルが上がるのではないかな」などの感想が寄せられました。

榎町特別出張所地区町会連合会では、防災をはじめ地域の様々な課題に対応するための取り組みを引き続き行っていきます。



「怪我をしている方は傷病者用スペースに。」「家族は何人?」次々に来所する人々の状況を考え最適な場を決めていきます。



「明後日、間仕切り50枚が届きます!」「配布するボランティアを募集しよう。」数々の情報をどう周知するかを考えます。



人形劇

12月8日(土)の午後、榎町地域センターのホールにて劇団「貝の火」による人形劇が上演されました。

初めは「いちひきのこやぎ」。演者が着る不思議なエプロンのポケットから小さなこやぎとオオカミが次々と登場してきて活躍する楽しいお話でした。

次は「さんびぎのこぶた」。皆知っているお話ですが、登場するこぶたやオオカミは演者が生の声で演じていきます。子どもたちは臨場感をもって、物語のなかに引き込まれていきます。皆でこぶたに応援の声をあげて悪いオオカミをやっつけました。

終演後は、人形たちが子どもたちにごあいさつの握手をしてくれました。



中学生と幼児の百人一首カルタあそび



休みなしで50kgのお餅をつきました



つきたてのお餅を器用に丸めていく

むかしあそび もちもちの会

3月9日(土)、牛込第二中学校にて「むかし遊び・もちもちの会」を催しました。中学生が実行委員となり、卒業生へのお祝いと、地域の皆さんとの交流を深めるために、毎年三月にお餅つきと昔あそびを行っています。企画から実行まで、中学生が中心となって準備を重ねてきました。当日は暖かな春日となり、会場には大ぜいの地域の人々が集まりました。

幼児や小学生も重い杵を持ち上げて、中学生と一緒に餅をつきました。ついたお餅はすぐ丸めて餡子や黄粉にからめていきます。皆でつきたてのお餅をいただきました。

校舎内は、けん玉やコマまわし、将棋やめんこなど、昔あそびに興じる親子でいっぱいになりました。

校庭では子どもたちが羽根つきや自分で作った凧を揚げたり、紙ひこうきを飛ばして元気に走っていました。中学生が工夫して作ったストラックアウトやボール当てゲームも人気がありました。

7月には「牛込二中えんにち」を催します。縁日を模した、ゲームや氷かきを皆さんに楽しんでもらうよう、中学生ががんばります。ぜひ遊びにきてください。

協力 榎町子ども家庭支援センター
牛込第二中学校



年季の入った中学生のつき手が登場



生徒会長の作った「ストラックアウト」に子どもたちが集まる



オリジナル凧を作って空に揚げよう

「東京都子供の体力向上推進優秀校」に選ばれました

江戸川小学校の子供たちは体を動かすことが大好きです。体育の授業や休み時間には、校庭や体育館で思いっきり体を動かす姿が見られます。それ以外にも毎週月曜日と水曜日は朝7時45分から「朝ギネス」に取り組みます。また、4年生以上の希望者は放課後部活動にも参加します。月曜日は卓球、火曜日はサッカー、金曜日はバドミントンです。中には3種目とも参加している子もいます。

この「朝ギネス」と放課後部活動は平成23年度から本校が東京都から委託を受けている「1日60分運動推進」体力向上推進校の取組として始まったものです。今年度で8年目を迎えました。10年目の2020年度までは必ず続く予定です。

この取組の成果として、今年度は素晴らしい結果が出ました。

体力テストの数値が新宿区で第1位になり、東京都の体力向上推進優秀校へ推薦をいただきました。

つい先日、3月13日に「東京都子供の体力向上推進優秀校」に選ばれたとの連絡をいただきました。このことは校内のみならず、8年間「朝ギネス」や放課後部活動を支え続けてくださっている地域の方々や喜び合いたい出来事です。

地域の方々や、朝や放課後の指導で8年間多大なる協力をしてくださっています。また、9年目を迎える地域の方々の協力なしでは、江戸川小学校の取組は成り立ちません。

3月18日の全校朝会では地域の方々に対して、代表児童が感謝の言葉を送らせていただきました。

この家族のような温かい関係が江戸川小学校のよさです。



「感謝の会」

3月5日(火)、春の日差しが徐々に感じられるようになった屋下がりには早稲田小学校体育館にて感謝の会が開かれました。

学校の在校生による「6年生を送る会」とは違い、保護者と6年生が主となりお世話になった先生方、教職員の方々へ感謝を伝える会です。

この日のために係の保護者を中心に作成された色とりどりのペーパーフラワーやガーランドが会場を華やかに彩ります。それ以外にも、入り口には6年生一人一人が好きな言葉を持った写真が飾られ、みんなの少しはにかんだ笑顔が印象的でした。その中を6年生と先生教職員の方々が手を取り、肩を組み、それぞれの入場に会場は楽しい雰囲気包まれスタートしました。

スライドで小さい頃の写真が流れると子どもたちの笑い声が響きます。続けて今年1年の授業風景を見ながら歓談し、その後児童の出し物となりました。

6年生が自分たちで考えた劇で小学校生活を振り返りつつ、その当時の担任の先生からお話を伺うという、工夫された構成でした。「ミカルの劇で当時の様子を思い出しながら、先生が話してくださいる子どもたちのエピソードにはしみじみと聞き入り、まだ小さかった頃の様子を思い浮かべました。

そして最後は6年生が合唱と合奏を披露し、会は終了になりました。最後の片付けのテキパキとしたところも6年

生としての成長を感じる一幕でした。卒業式のような改まった場とはまた違う、和やかで笑顔いっぱい楽しい会でした。

子どもたちは、小さいころからたくさんの人たちに見守られ、いまま大人たちのまなざしの中にいると感じることができたのではないのでしょうか。このような機会があるということを保護者として深く感謝したいと思います。



「職場体験を通して」

今年度、新しい取組として、六年生の職場体験を行いました。春に、地域協働学校運営協議会に六年生担任が青写真を示し、体験させていただくお店や事業所に、どのような形でお願いしていくのがよいのか相談を始めました。

スクールコーディネーターの方や運営協議会のメンバーの皆さんが、地域の様々なところにお声かけくださり、十二のお店と事業所からご協力をいただけることになりました。

二月十五日には、六年生の子どもたちがお世話になる職場体験の受入先を訪れ、ご挨拶と事前の確認などを行いました。緊張した面持ちで現地へ向かいましたが、一週間後の体験に向けて、覚悟を固めたようでした。

二月二十二日、いよいよ体験当日です。三〜五人のグループに分かれ、意気揚々とでかけていきました。美容室、お花屋さん、行政法人事務所、トランクルーム、和菓子屋さん、写真館、接骨院、リラクゼーション、カフェ、ドラッグストア、百円ショップ、併設幼稚園では、それぞれの体験場所の特徴に応じて、様々な体験をさ

せていただきました。子どもたちは、仕事という普段とは違う責任を感じながら試行錯誤をし、一つ一つの体験を心に刻んでいました。
この活動は、子どもたちにとって、将来の職業を考える拠り所となる貴重な体験であると共に、地域の方々への感謝の気持ちを一層高める機会となりました。



高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

28

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします。

＊平成30年度第27回輪投げ大会

平成30年12月3日(月) コズミックセンター体育室で開催されました。

榎地区からの参加チームは13チームで、早南クラブが278点で準優勝になりました。おめでとございます。

他の榎地区の参加チームは次のとおりです (成績順)

- ・ 弁天町和老クラブ、・ 早稲田永楽会、・ 原一あゆみ会、・ 早稲田長寿会、
- ・ 榎町友の会、・ 西鶴クラブ、・ 薬王寺長寿会、・ 原一わらく会、・ あかぎ友の会、
- ・ 牛込心友会、・ 山吹会、・ 柳町すみれ会。

＊第62回「囲碁大会」の成績

平成31年2月17日(日) 北新宿生涯学習館で開催された第62回囲碁大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。(敬称略)

おめでとございます。

- ・ Aクラス 第三位 吉成 久男 七段 柳町すみれ会
- ・ Cクラス 準優勝 山住 静江 三級 水の原クラブ

＊第62回「将棋大会」の成績

平成31年2月3日(日) 北新宿生涯学習館で開催された第62回将棋大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。(敬称略)

おめでとございます。

- ・ Aクラス 優勝 山住 市郎 三段 水の原クラブ



早稲田地区青少年育成委員会

みんな集まれ釣り大会

小・中学生の皆さん！市谷の釣り堀で鯉つりを楽しみませんか。

日時 6月16日(日)

雨天の場合は翌週23日に実施
釣り時間 9時～11時

集合 8時15分

早稲田・鶴巻小……鶴巻南公園

牛込仲之小……校門前

集合 8時30分

江戸川小……校門前

会場への往復は育成委員が引率

保護者と共に参加する児童は8時40

分に市谷フィッシュセンターに集合

*参加は無料です(交通費自己負担)

*詳細については、5月に学校から配布

される案内・申込み書をご覧ください。

子ども防災キャンプ

災害に備え、防災のことを学びましょう。応急給水施設の見学や地震車、消火、応急救護、通報、避難時の食事など、体験してみませんか。

日時 7月6日(土)9時～13時

集合 8時30分 鶴巻南公園

会場 鶴巻南公園

榎町地域センター4階ホール

対象 小中学生

*詳細については、6月に学校から配布される案内・申込み書をご覧ください。

スポーツ交流

お知らせ

ユニカール・輪なげ

日時

① 6月2日(日)

② 6月16日(日)

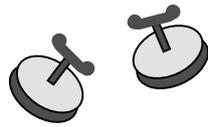
③ 7月14日(日)

④ 7月21日(日)

①～④ 10時～12時

会場 榎町地域センター

4階多目的ホール



卓球

日時

① 5月5日(日)

② 6月2日(日)

③ 7月7日(日)

①～③ 10時～12時

会場 早稲田小学校体育館

*ラケット等の用具は会場に用意してあります

*事前の申込みは必要ありません

当日、会場にて参加を受付けます

運動のしやすい服装で上ばきを持参ください

問合せ 黒川 孔晴

TEL 03(3268)1777

主催 わせだスポーツ・文化協議会

新宿山吹高等学校校部活動報告

全国大会

① 平成三十二年第四十二回 全国高等学校総合文化祭
囲碁部門 団体戦優勝

東京都チーム 副将 有野直紀
② 平成三十二年全国高等学校定時制通信制体育大会
第二十回 バドミントン大会 団体戦優勝

東京都チーム 伊藤大和
③ 平成三十二年全国高等学校定時制通信制体育大会
第五十三回 自転車競技大会 女子2km
インディヴィジュアルパーシユート

優勝 萩原 由貴

東京都大会

① 定時制通信制春季大会(運動部)

硬式テニス部 女子ダブルス・女子シングルス 優勝

男子シングルス 二位

バドミントン部 男子ダブルス 優勝

男子シングルス 二位

② 定時制通信制秋季大会(運動部)

バドミントン部 男子ダブルス 優勝

男子シングルス 二位

男子ダブルス・女子ダブルス・

男子ダブルス・男子団体 三位

女子総合 優勝

③ 平成三十二年 第七十二回東京都高等学校

演劇コンクール中央大会

演劇部 優秀賞

④ 平成三十二年 第六十九回東京都高等学校定時制通信制芸術

書道部 金賞・銅賞

音楽部 第二位

⑤ その他
合唱同好会奨励賞

IT研究会平成三十二年

全東京高等学校ワポロ競技大会

団体 三位

榎町地域センターからのお知らせ

ワンコインえのき寄席

日時：6月30日(日)

開場：午後2時30分

開演：午後3時

会場：榎町地域センター4階

多目的ホール

入場料：500円

定員：120名

出演：三遊亭歌太郎

春風亭 一花

*チケットは5月1日(水)より榎町地

域センター2階事務局で販売します。

納涼カラオケ大会

日時：7月28日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター4階

多目的ホール

参加費：300円

募集：72名

申込み：7月7日(日)午前10時より

榎町地域センター4階多目

的ホールにて受付

*申込書は5月16日(木)より榎町地域

センター2階事務局にて配布します。

問合せ：榎町地域センター事務局
電話 03(3202)8585

えのき文芸



紅薄し孫は乙女に春扇

大籠 紀子

渦の子が鳴門の春を流れ行く

加藤 斗志夫

梅咲くや絵馬に三校神頼み

加藤 理君

花愛でむ勅願の杜女坂

金澤 誠

さくらがね太ようきららまぶしいな

しおり (小二)

劇場を出でて夕暮春の雪

軽部 とみ子

変針の水尾くつきりと春の航

川口 あきを

花の名を忘れし鉢の赤い芽よ

北野 明治

梅の影水琴窟の遠き音

木村 かづこ

スーパームーン影も朧に膨らめり

梨平 美沙子

菜花茹で青春の色こぼしけり

原 綾

送電線夕陽と繋ぐおぼろ月

水上 香子

背のびして柏の葉摘む若き母

山口 敏子



花筏鯉に壊され神田川

万葉集引っ張り出して新元号

菅野 あきら

儘ならぬ浮世は工夫して生きる

夢を持ち新元号に期待する

小山 一湖

無為徒食社会に尽くせぬ日が過ぎる

青木 久彌

老いるほど求める力無限大

大籠 紀子

今日もまたよいしよと越えた八十路坂

奥瀬 イチ



お花見はのんでいる人寝てる人

花はつまみで酔いどれる人

奥瀬 イチ

好評の我がカラオケのテープ聴く

老難聴ゆゑ犬吠埼なり

青木 久彌

大空に白木蓮の群れ咲きて

花卉を返す風に香のあり

加藤千代子

久々の雨にぬれたる梅の花

蒼苔の上に花びら散らす

金成 光祥

神田川土手の若草東風ふいて

桜ふぶきで紅色になり

山口 敏子

春の花



ハクモクレン (白木蓮) モクレン科の落葉高木。花は花弁・萼片合わせて9枚。高さは5メートルに達し白色の大形の花を咲かせる。



カワズザクラ (河津桜) バラ科サクラ属の落葉高木。日本には百種以上の桜があるという。カワズザクラはピンクが濃く、早く咲く。

広報部からのお知らせ

「家族の肖像」「技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は「秋」、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、9月10日(火)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL(3202)85585
FAX(3202)2478